

工 事 仕 様

1. 適用仕様等

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、以下の仕様書による。

- (1) 「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編 平成31年版）」 国土交通大臣官庁防衛庁官庁整備部監修
- (2) 「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編 平成31年版）」 国土交通大臣官庁防衛庁官庁整備部監修
- (3) 「公共建築工事標準仕様書（建築土工編 平成31年版）」 国土交通大臣官庁防衛庁官庁整備部監修
- (4) 「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編 平成31年版）」 国土交通大臣官庁防衛庁官庁整備部監修
- (5) 「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編 平成31年版）」 国土交通大臣官庁防衛庁官庁整備部監修
- (6) 「公共建築改修工事標準仕様書（建築土工編 平成31年版）」 国土交通大臣官庁防衛庁官庁整備部監修
- (7) 「公共住宅建設工事標準仕様書（平成28年版）」 国土交通省住宅局住宅政策企画課監修

年度内に最新版が発行された場合は、最新版に準拠する。

ただし、改定内容で発注仕様の変更又は工事仕様率の変更が生じる場合は、県担当者と協議すること。

2. 補足基準等、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、以下の基準、指針、要領、標準図等による。

適用仕様等、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、以下の基準、指針、要領、標準図等による。

(1)「公共建設設備工事標準図(機械設備工事編 平成31年版)」 国土交通省大臣官庁官房官庁情報部設備・環境課監修

(2)「公共建設設備工事標準図(電気設備工事編 平成31年版)」 国土交通省大臣官庁官房官庁情報部設備・環境課監修

(3)「建築工事標準図(建築工事編 平成31年版)」 国土交通省大臣官庁官房官庁情報部整備課監修

(4)「機械設備工事監理指針(平成31年版)」 国土交通省大臣官庁官房官庁情報部監修

(5)「電気設備工事監理指針(平成31年版)」 国土交通省大臣官庁官房官庁情報部監修

(6)「建築工事監理指針(平成31年版)」 国土交通省大臣官庁官房官庁情報部監修

(7)「建築改修工事監理指針(平成31年版)」 国土交通省大臣官庁官房官庁情報部監修

(8)「建築設備前設計、施工指針(2014年版)」 独立行政法人 建築研究所監修

(9)「建築工事安全衛生技術指針・同解説」 国土交通省大臣官庁官房官庁情報部整備課監修

(10)「建築物廃棄物処理指針」 厚生労働省生活衛生局

(11)「建築物解体等に係るアスベスト飛散防止対策マニュアル」 環境省大気保全局(環境省アスベスト飛散防止対策研究センター)

(12)「建築工事の手引き」 福岡県建築計画部編集

年度内に最新版が発行された場合は、最新版に準じる。

ただし、改定内容で発注仕様の変更又は工事価格の変更が生じる場合は、県担当者と協議すること。

3. 現場に常備する図書等

4. 特記仕様

①章および項目は番号○・印のついたものを適用する。

②特記事項のうち選択する事項は、原則として※印を選択するが、それ以外を適用する場合は○印をつけて選択する。

③図面に明記なくも関係法体系・機能上・意匠上当然と認められるものは、本工事にて施すことにする。

| 章 | 項 目 | 特 定 事 項 |
|--------|---|--|
| ① 一般事項 | <p>① 発生材の処理</p> <p>※18建設副産物の処理についての項を適用すること。</p> <p>② 残土処分</p> <p>※フロンの処理は、19フロンの処理についての項を適用のこと。</p> <p>※構外搬出 ・ 構内搬出し</p> <p>③ 官公署その他への 手続</p> <p>④ 測定表</p> <p>⑤ 他工事との取合い</p> <p>⑥ 技能士の適用</p> <p>⑦ あと施工アンカー</p> | <p>※18建設副産物の処理についての項を適用すること。</p> <p>※フロンの処理は、19フロンの処理についての項を適用のこと。</p> <p>※構外搬出 ・ 構内搬出し</p> <p>④ 工事に必要な官公署その他の関係機関への諸手続等は、これに必要な資機材、労務、及び費用を請負者の負担にて速やかにおこない、その検査に合格すること。</p> <p>下記 の測定表を提出する。</p> <p>○ 温度 ・ 湿度 ・ 風量 ○ 騒音 ・ 水圧 ・ 排水満水 ・ 気密 ・ 浄化槽放流水</p> <p>※施工区分による ・ 図面詳細による</p> <p>住宅においては20戸以上、住宅以外の建物については1,500m²以上の工事に適用する。</p> <p>○ 配管（建築配管作業）○ 建築板金（ダクト板金作業）○ 熱絶縁施工（保温保冷工事作業）</p> <p>○ 冷空気空調機器施工（冷空気空調機器施工作業）</p> <p>あと施工アンカーの施工は、（一社）日本建築と施工アンカー協会の有資格者に行うこと。</p> |

② ① 監督員事務所
② 工事用電力・水
・その他
③ 足場
4 矢板

※設けない ・ 設ける (10 m程度) 備品については監督員の指示による。
この工事に必要な工事用電力(仮設及び試験調整用電力を含む)、水(機能検査、消火用水及びブルの水張りを含む)及び係手続などの費用は、すべて請負者の負担とする。
○他工事 ・ 本工事 (詳細図による)。
掘削深さ(1,500 mm以上)の掘削には矢板を使用すること。

| | |
|-----------|--|
| ①. 機材 | この工事に使用する機材は、監督職員（係員）の承諾を受けること。 |
| ②. 容量等の表示 | <p>なお、材料及び製品については、地域産材の使用に努めること。</p> <p>イ) 機器類の能力、容量等（電動機出力は除く）は、原則として、表示された数値以上とする。</p> <p>ロ) 電動機出力は、原則として、表示された出力以下の容量とする。</p> <p>ハ) 電動機の周波数は、60Hzとする。</p> |

③ 耐震施工

設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指2014年版」による。

（1）設計用標準震度（Ks）

機器等の耐震安全性の分類及び設置場所により下表より求める

| 設置場所 | 耐震安全性の分類 | | | | | |
|----------------|--------------|------|--------------|---------|--------------|--------------|
| | ○ 特定の施設 | | | ○ 一般の施設 | | |
| | 重要機器 | 重要水栓 | 一般水栓 | 重要機器 | 重要水栓 | 一般水栓 |
| 上層階、 屋上及び塔屋 | 2.0 (2.0) | 2.0 | 1.5 (2.0) | 1.5 | 1.5 (2.0) | 1.0 (1.5) |
| 中間階 | 1.0 (1.5) | 1.5 | 1.0 (1.5) | 1.0 | 1.0 (1.5) | 0.6 (1.0) |
| 地階及び1階 | 1.0 (1.0) | 1.5 | 0.6 (1.0) | 1.0 | 0.6 (1.0) | 0.6 (0.6) |

（ ） 書きの数値は防振機器

* 耐震安全性の分類 (○ 特定の施設、一般の施設)
 * 次に示す機器を、重要機器、重要水槽とし、それ以外の機器を一般機器、一般水槽とする。
 ○ 消火ポンプ、消火給排水槽
 * 上層階の定義は、次のとおりとする。
 2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、
 13階建以上の場合は上層4階
 (2) 地域係数 (Z)
 地域係数 (Z) は、1.0とする。

| | | |
|---|--------------|--|
| ㊦ | 防火区画等を貫通する材質 | 給水管その他の管が、建築基準法施行令第112条第15項の耐火構造の防火区画等を貫通する場合の措置は、図らによる。 |
| ㊧ | 給水管の配管 | 飲料用の給水・給湯管、継手、弁類、水栓等については、鉛に関する浸出性能基準を満足すること。 |
| ㊨ | ライニング鋼管の継手 | 呼び径100以下はねじ接合、125以上はフランジ接合とする。 |

③ 埋設標識テープ
 ※鋼材・ボルトナットを屋外又は多湿箇所に使用する場合は、溶融亜鉛メッキ（2種35）又は、ステンレス鋼製（SUS304）とする。
 埋設深さは150mm、テープ幅は150mm以上（図-I）とし、色については次による。
 上水（青） ガス（緑） 消火管（赤） 中水（黄色） 油（茶）
 その他については、監督職員（係員）の指示による。

⑨ 地中埋設及びコンクリート内の防食

11. コンクリート強度 イ) 無筋コンクリートの配合は、1:2:4とする。
ロ) 鉄筋コンクリートの設計強度は、18N/mm²とする。
 ⑦ はつり 既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の孔開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。
 13. ポンプ電動機の極数 ・排水ポンプ 極 ・冷温水ポンプ 極 ・冷却却水ポンプ 極

| | |
|--------|--|
| ⑬ 電線管 | ※特記なき電線管は、薄鋼電線管又は同一外径のねじなし電線管とする。 ※可とう電線管は、2種金屬可とう電線管とする。 |
| ⑬ 電線 | ※特記なき電線は、600Vビニル絶縁電線とする。 |
| 16. 鉄類 | この工事で設置する鉄類の仕様については、監督職員（係員）の承諾を受けること。 |

| | | |
|----------------|---|--|
| 衛生 設備 整備 | <p>① 大便器</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洋風大便器 ※節水型 一般型 ※耐火カバー（防火区画員連部） ・和風大便器 ※節水型 一般型 ※高座面形 ○節水型 F V（パキュームブレーカ付） タンク式 ・床置型 ○壁掛型 <p>② 大便器洗浄方式</p> <p>③ 小便器</p> <p>④ 小便器洗浄方式</p> <p>⑤ 便座便</p> <ul style="list-style-type: none"> ※専用洗浄方式 洗浄方式 <p>⑥ 壁掛形汚物流しユニット</p> <p>⑦ 洗面化粧台</p> <p>⑧ 水栓</p> <p>⑨ 鏡</p> <p>10. 化粧棚</p> <p>⑪ 水栓柱</p> | <p>大便器は1組に1個、小便器は2組に1個とする。（※シール・陶器製・アクリル製）</p> <p>給水管、給湯管、排水管、通気管（※ユニット内 ※ユニット外）</p> <p>※洗面化粧台キャビネット部材は、ホルムアルデヒド放散量が日本森林環境（JAS）で定めるF☆☆☆☆基準のものとする。</p> <p>※節水コマ付・普通コマ付</p> <p>※節水型・窓枠防曇形 ・耐食 ・窓枠防曇耐食 ・身体障害者対応</p> <p>○露出形 ・埋込形</p> <p>70°×1300（※人研製 ・レジコン製 ・SUS製）</p> |
|----------------|---|--|

| | | |
|-------------|----------------|--|
| 給水設備 (5) | 1 量水器 | ・親メーター (※賞与品 ・買取り) ※計量法 検定合格品とする。 ・子メーター (・賞与品 ※買取り) |
| | 2 量水器器 | ・水道事業者指定品 (・賞与品 ※買取り) ・国土地交通省型 ・その他 |
| | ③ 弁類 | ○水道直結部分 JIS (※10K ・買取り) ○その他の部分 JIS (○GK (・10K ・買取り)) |
| | | ・塩ビライニング鋼管及びポリ粉体鋼管の配管に取り付ける締結製の弁はライニング弁とし、青銅製弁は管端防食継手の規定に準じた管端コを備えたものとする。 ・締結製ストレーナーはライニングを施したものとする。 |
| | ④ 弁類 ⑤ 配管材料 | ○国土地交通省型 図2による。 一般配管 ・塩ビライニング鋼管 (SGP-VA) ○塩ビライニング鋼管 (SGP-VD) ○塩ビライニング鋼管 (SGP-VB) ・ポリ粉体鋼管 (SGP-PE) ・水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (HIVP) ・鉄鉄管 (型 種) ・ステンレス鋼管 (SUS) (・圧接接合 ・溶接接合 ・拡管接合) ・架橋ポリエチレン管またはポリブテン管 (・や管工法) |

| | |
|----------------|---|
| 屋内地中配管 | <ul style="list-style-type: none"> ○塩化ライニング鋼管 (SGP-VD) ○ポリ粉体鋼管 (SGP-PD) ○水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (HVP) |
| 屋外地中配管 | <ul style="list-style-type: none"> ○塩化ライニング鋼管 (SGP-VD) ○ポリ粉体鋼管 (SGP-PD) ○水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (HVP) ○水道用硬質塩化ビニル管 (VP) ○ポリエチレン管 1種 (PE) (・溶着接合・金属継手接合) |
| 厨房、浴室等のシンダー内配管 | <ul style="list-style-type: none"> ○塩化ライニング鋼管 (SGP-VD) |

| | | |
|----|-----------|---|
| 6 | 引込給付金等 | ※別途 |
| 7 | ポンプ基礎 | ※標準基礎 ・ 防振基礎 |
| 8 | 他の設備項目の適用 | 下記のものは、空気調和設備の当該項目を適用する。 イ) 防振継手 ロ) 74747 67 (ヨットハ) 防振用金物及び支持金物 (ただし湯水管のみ) |
| 9 | 建物内部配管 | ※標準型 (・ (a) ・ (b) ※ (c) スリクツツシ) による。 |
| 10 | 管の埋設深さ | ※一般敷地 (C000 mm mm) ※内庫内通路 (・ C00 mm mm) |
| 11 | 器具接続用管端 | ※用いる (図4による。) 塩ビラインング鋼管と給水栓・銅合金製配管附属品等との接続 |
| 12 | 放水管継手 | |

| | |
|---------------|--|
| <p>① 配管材料</p> | <p>○汚水 管 ○硬質塩化ビニル管(VP) ・硬質塩化ビニル管(RF-VP) ○耐火二層管 ・排水用塩化ビニリング鋼管</p> <p>○雑排水管 ・配管用炭素鋼鋼管(白) ○硬質塩化ビニル管(VP) ・カラーVP ・硬質塩化ビニル管(RF-VP) ・耐熱硬質塩化ビニル管 ○耐火二層管 ・排水用塩化ビニリング鋼管</p> <p>○屋外排水管・硬質塩化ビニル管 ○VP ○VU ※呼び径125以上は原則としてVUとする。</p> <p>○小口径樹立り管・硬質塩化ビニル管(・) ※VU</p> <p>○通 気 管・配管用炭素鋼鋼管(白) ○硬質塩化ビニル管(VP) ・カラーVP ・硬質塩化ビニル管(RF-VP) ○耐火二層管 ・排水用炭素鋼鋼管(白) ・カラーVP ・耐火二層管 ・排水用炭素鋼鋼管(黒) ・カラーVP ・耐火二層管</p> |
| <p>② 管接合</p> | <p>・鋼 管(・) ・ねじ込み式 ・助継手 ・溶接</p> |

| | |
|----------------|--|
| ③ 可燃材の区画処理 | 図5による。 |
| ④ 弁類 | 特記以外JIS 5K とする。 |
| ⑤ 床上揚降口直下の曲 | 排水鉄製管系統の床上揚降口直下に取付ける管は45° 2回曲りとする。 |
| 6 コンクリート製ふた | 図面詳細による。 |
| ⑦ 小口鋼製ふた | 図面詳細による他、下記による。 ミカゲ (未塗装部) 鉄鍍 (歩道部) 保護鉄鍍 (車道部) (・T-8 ・T-14 ・T-25) |
| 8 伸縮継手 | ビニル製伸縮継手 |
| 9 グリーストラップ | 空気調和・衛生工学会規格SHASE-S 217 (グリース阻集器)によるものとする。 |
| 10 差込ソケット (VV) | 排水流し下のビニル製排水管には差込 (VV) ソケットを使用すること。 |
| 11 満水試験継手 | 図示による。 |

⑦ ① 管類

イ) ○ステンレス鋼管 (・圧縮接合 ○溶接接合) ・保温付ステンレス鋼管
 ・耐熱塩ビライニング鋼管 ・鋼管 ・保温付被覆鋼管 ・被覆断熱鋼管
 ・架橋ポリエチレン管またはポリブレン管 (さや管工法)

ロ) 鋼管使用の場合はM管とし、電食防止継手を付ける。
 ※用いる (図4による)。

② 器具接続用管端 防食管継手

③ 弁類

④ 貯湯式ガス湯沸器

⑤ 排気筒及び煙突

⑥ 保温

イ) 膨張水槽の保温 (・要 ・不要)

ロ) コンクリート埋設部 (・防水麻布巻 ・保温施工)

⑦ 湯沸器

○縦間通 ○貯湯式 ・風呂給湯器 (オートタイプ)

⑧ ガス ・燃料 ○電気

| | | |
|------|-----------------------|---|
| 消火設備 | 1. 消火ポンプの基礎 | ・ 標準基礎 ・ 防振基礎 |
| | 2. フート井・呼吸器及びガクシオンカバー | ・ 要 ・ 不要 |
| | 3. 屋内消火栓弁 | ※減圧弁付 |
| | 4. 保温 | ・ 屋内消火管 (・ 要 ※不要) ・ 屋外露出消火管 (※要 ・ 不要) |
| | 5. 管類 | ・ 配管用炭素鋼管(白) (屋内) ・ 外面被覆鋼管 (・ SGP-VS ・ SGP-PS) ※要 |
| | 6. 消防設備土 | ※要 |

| | | | |
|---|--------------|--|---|
| 9 | 1. 種類 | ・都市ガス（ガス種 ※13A・12A） | ・液化石油ガス |
| | 2. 管類 | 一般配管 <ul style="list-style-type: none"> ・配管用炭素鋼管（白） ・硬質塩ビ外面被覆鋼管 ピット内配管 <ul style="list-style-type: none"> ・硬質塩ビ外面被覆鋼管 ・ポリエチレン被覆鋼管 ガス外敷配管 <ul style="list-style-type: none"> ・ポリエチレン管 JIS K 6774 | <ul style="list-style-type: none"> ・ガス用ステンレス製フレキシブル管 ・ポリエチレン被覆鋼管 ・ポリエチレン被覆鋼管 |
| | 3. 都市ガス | Ⅰ ガスメーター 観メーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。 | |
| | 4. 液化石油ガス | Ⅰ ガスメーター（・買取り ・借用） Ⅱ 集合装置（・別途工事 ※本工事） ハ）転倒防止用の鎖（・別途工事 ※本工事） ニ）ポンプ置場のコンクリート基礎（※別途工事 ・本工事） | |
| | 5. ガス湯沸器の付属品 | 運動スイッチ（・要 ・不要） | |
| | 6. ガス漏れ警報器 | <ul style="list-style-type: none"> ・本工事 ・別途工事 ※ガス漏れ警報器工事は、住宅工事においては原則として行わない。 液化石油ガス設備士による施工とする。 | |
| | 7. 施工資格 | （財）日本エルビーガス機器検査協会、検査合格品とする。 | |
| | 8. ガス栓 | ※要 ・不要 | |
| | 9. 総検縦手 | ・標準図（・（a） ・（b） ※（c） スリークッション）による。 | |
| | 10. 建物導入口配管 | | |

⑩ 換気設備

- ① ダクトの種類
 - ※低圧ダクト ・ 高圧ダクト
- ② 厨房排気ダクト (矩形状の板厚)
 - ※厨房排気ダクト (矩形状の板厚) の板厚は、表1による
- ③ ダクトの工法・種類
 - イ) 給気用ダクト ・ アングル工法 ・ コーナポート工法 (・ 共板 ・ スライドオン)
 - スパイラルダクト
 - 耐火二層管工法 ・ VP管工法
 - ロ) 排気用ダクト ・ アングル工法 ・ コーナポート工法 (・ 共板 ・ スライドオン)
 - スパイラルダクト
 - 耐火二層管工法 ・ VP管工法
- ④ ダクトの分岐方法
 - イ) 給気用ダクト
 - ※割込み方式 ・ 直付け方式
 - ロ) 排気用ダクト
 - ※割込み方式 ・ 直付け方式
- ⑤ 換気フード
 - ※指定色仕上げ ・ 指定なし
- ⑥ 厨房排気フード
 - イ) 排気フードの構造及び支持金物、接合材等は、亜鉛鍍板製風道の当該事項による。
 - ロ) 材質
 - ※ステンレス製 ・ 亜鉛鍍板製
 - ハ) グリースフィルターは、設置台数と同数の予備品を納入する。
- ⑦ 多湿箇所 の 範囲
 - ※厨房 ※浴室 (シール有)
- ⑧ 他の設備項目の適用
 - 下記のものとは、空調設備の当該項目を適用する。
 - イ) 風量測定ロ
 - ロ) チャンパ―等
 - ハ) 吐出口及び吸込口の材質
 - ニ) 防塵ダンパー
 - ホ) 消音内貼り
 - ヘ) 防振つり金物
 - ヘ) 床置 (・ 標準基礎 ・ 防振基礎 (吊り (標準吊りによる。))
- ⑨ 送風機 の 基礎
 - ※要 (隠ぺいの箇所のみ) ・ 不要
- ⑩ 湯沸機用排気箇所の断熱

| 11 排煙設備 | 1.ダクトの材質 2.排煙口 | ・亜鉛鉄板製 ・普通鋼板製 イ) 形状 ・スリット形 ・パネル形 ・ダンパ形 ロ) 開放装置 ・手動 ・手動及び遠隔操作可能なもの | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|---|--|---------|-----|---------|-----------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|---------|--|--|--|--|--|--|---------|--|--|--|--|--|--|--|--------|-----------|---------|--|--------|-----------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|---------|-----|-------|-------|-------|--|-------|-------|-----|--|---|---|---|---|--|-----|------|-------|-------|--|-------|-------|-----|--|---|---|---|---|
| | 12 自動制御設備 | 1.中央監視制御 2.中央監視制御装置の構成・機能 3.電源装置 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 13 空気調和設備 | ① 温湿度調整目標値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <table><tr><th rowspan="3"></th><th colspan="4">外 気</th><th colspan="8">室内</th></tr><tr><th colspan="4"></th><th colspan="4">一 般 系 統</th><th colspan="4"></th></tr><tr><th>温 (DB)</th><th>湿球温度 (WB)</th><th>湿度 (RH)</th><th></th><th>温 (DB)</th><th>湿球温度 (WB)</th><th>湿度 (RH)</th><th>温 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th><th>温 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th><th>温 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th></tr><tr><td>夏 季</td><td>34.8℃</td><td>27.5℃</td><td>57.0%</td><td></td><td>25.0℃</td><td>17.9℃</td><td>50%</td><td></td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td><td></td></tr><tr><td>冬 季</td><td>1.8℃</td><td>-1.0℃</td><td>59.0%</td><td></td><td>20.0℃</td><td>12.3℃</td><td>40%</td><td></td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td><td></td></tr></table> | | | 外 気 | | | | 室内 | | | | | | | | | | | | 一 般 系 統 | | | | | | | | 温 (DB) | 湿球温度 (WB) | 湿度 (RH) | | 温 (DB) | 湿球温度 (WB) | 湿度 (RH) | 温 (DB) | 湿度 (RH) | 温 (DB) | 湿度 (RH) | 温 (DB) | 湿度 (RH) | 夏 季 | 34.8℃ | 27.5℃ | 57.0% | | 25.0℃ | 17.9℃ | 50% | | ℃ | % | ℃ | % | | 冬 季 | 1.8℃ | -1.0℃ | 59.0% | | 20.0℃ | 12.3℃ | 40% | | ℃ | % | ℃ | % |
| | 外 気 | | | | 室内 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 一 般 系 統 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 温 (DB) | 湿球温度 (WB) | 湿度 (RH) | | 温 (DB) | 湿球温度 (WB) | 湿度 (RH) | 温 (DB) | 湿度 (RH) | 温 (DB) | 湿度 (RH) | 温 (DB) | 湿度 (RH) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 夏 季 | 34.8℃ | 27.5℃ | 57.0% | | 25.0℃ | 17.9℃ | 50% | | ℃ | % | ℃ | % | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 冬 季 | 1.8℃ | -1.0℃ | 59.0% | | 20.0℃ | 12.3℃ | 40% | | ℃ | % | ℃ | % | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 14 配管材料 (n' カウズ777を除く) | ② 電気工事の範囲 ③ パッケージエアコン | ※施工区分表による。 ・図面詳細による。 イ) 冷媒 ※R407C, R410A, R134a, R32等 ロ) 冷媒管 (※断熱材被覆鋼管 (断熱厚: 液管10mm (液管の管径9.52mm以下は厚8mm)、ガス管20mm)) ハ) 冷媒管及びドレン管の区画処理 (・有 (※国土交通大臣認定工法・その他) ・無) ニ) ドレン管の材質 ・配管用炭素鋼管 (白) ・カラーVP ・耐火二層管 ホ) 結露防止層付強化ビニル管 ○ 硬質強化ビニル管 (VP) ヘ) ※2015年省エネ基準値対応品とする (各メーカー最高APF機種) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 4. 配管材料 5. 冷媒 6. 弁類 7. 防振緩手 8. フレキシブルジョイント | イ) 給水管 ・塩ビラインング鋼管 (・SGP-VB ・SGP-VVA) ロ) 冷温水管 ・配管用炭素鋼管 (白) ・耐熱塩ビラインング鋼管 ハ) 排水管 ・一般配管用ステンレス鋼管 ニ) 排水管 ・配管用炭素鋼管 (白) ・硬質強化ビニル管 (VP) ・カラーVP ホ) 結露防止層付強化ビニル管 ・硬質塩ビリサイクル管 (RF-VP) ヘ) 冷却水管 ・塩ビラインング鋼管 (※SGP-VB) ・ ホ) 蒸気及び油配管は配管用炭素鋼管 (黒) とする。 ハ) 冷媒管 ・鋼管 ・断熱材被覆鋼管 (製造者標準品) ト) 冷媒管の区画処理 (・有 (※国土交通大臣認定工法・その他) ・無) チ) 膨張管、安全管及び膨張水槽よりボイラへの給水管の配管材料は、水道用亜鉛メッキ鋼管とする。 ・ベローズ形 ・合成ゴム製 (・合成ゴム製 ・3山ベローズ形) ※長さは標準仕様書による。 ・ベローズ形ステンレス製 ・合成ゴム製 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 15 吹出口・吸込口の材質 (シャッター共) | 9.ダクト | イ) 種別 (※低圧ダクト ・高圧ダクト) ロ) 工法・種別 (・アングル工法・コーナーボルト工法 (・共振 ・スライダオン) ハ) 配管方法 (※割込方式・直付け方式) 標準仕様書によるほか、取付を図示した部分に取付ける。 イ) シーリングディフューザーには、下記の接続チャンパーを設ける。 a) ネット径が200φ以下 400×400×300H b) ネット径が200φをこえるもの 500×500×300H ロ) フリースライン形吹出口には、下記の接続チャンパーを設ける。 a) シングル形 200×(L+100)×300H b) ダブル形 250×(L+100)×300H ハ) 外壁に面するガラリに直接取り付けけるチャンパー、ホッパーには排水弁を設ける。 イ) ユニバーサル形吹出口 ・鋼板製 ※アルミ製 ロ) シーリングディフューザー ・鋼板製 ※アルミ製 ハ) 吸込口 鋼板製 ※アルミ製 (外気吸込口には防虫網付とする。) 下記のものとは本仕様による。 イ) 操作方式 ・電気式 ・空気式 ロ) 復帰方式 ※遠隔式 (※電気式 ・空気式) ・手動式 ハ) 温度ヒューズ (・取り付ける ・取り付けない) ニ) 表示用端子 (・設ける ・設けない) 鋼板厚 (・4.5mm ※3.2mm) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 10. 風量測定口 ① チャンパー等 | ② 吹出口・吸込口の材質 (シャッター共) 13. 防塵ダンパー 14. 煙道 ① 保温 ② 消音内貼り | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 16 機器類の架台 | 17. 機器類の架台 | イ) パッケージ形空気調和機 (・防振パット ※木台 ※転倒防止処理) ロ) ユニポート形空気調和機 (・標準架台 ・防振架台) ハ) 送風機 (・標準架台 ・防振架台) ニ) ポンプ (・標準架台 ・防振架台) ホ) 冷凍機 (・標準架台 ・防振架台) ヘ) 冷凍ユニット (・標準架台 ・防振架台) ・防振つり金物 (・シングル ・ダブル) (・中央機械室 ・各階機械室) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 18. 機械室 (配管・風道) のつり金物 | ※標準仕様書による。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 17 温度計 | 20. 圧力計及び連成計 21. 瞬間流量計 22. ファンコイルユニット用調節弁 23. 油サービスタック | ※標準仕様書による。 ※要 (※標準仕様書による。 ・図示による。) ・不要 ・流量調節弁 ・定流量弁 (流量設定が可能なもの) イ) 防凍堤 (コンクリート製) ※別途工事 ・本工事 ロ) フロートスイッチの機能は、下記による。 ・給油ポンプの起動、停止 ・満油警報 ・減油警報 ハ) 油面計 (・フロート式 ・ゲージ式) イ) タンク室 ・設けない ・設ける (・別途工事 ・本工事) ロ) 計量器 (・計量尺 ・直読式 (防水蓋スプリング付、プロテクター共) ・遠隔式) ハ) 土工事 ・オープンカット ・矢板 (・有 ・無) ・特殊基礎 (・有 ・無) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 24. 地下貯油槽 | ※要 (指定機器) ・不要 ※要 (指定機器) ・不要 ・設ける ・設けない ・設ける (煙道の直線部に直径80φ以上のフランジ付とする。) ・設けない | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 18 予備品 | 25. 予備品 | ※ファンコイルユニット付属品 イ) 運転表示ランプ 台数の1/2以上 ロ) フィルター 各室台数の1/2以上 ※自動巻取形空気濾過用フィルター (各台1巻) ※ユニット形空気濾過機 個 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 26. アフーマーター 27. 度数計 28. 煤煙濃度計 29. ばいじん測定孔 | ※要 (指定機器) ・不要 ※要 (指定機器) ・不要 ・設ける ・設けない ・設ける (煙道の直線部に直径80φ以上のフランジ付とする。) ・設けない | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

H 29 - 4

| | | | | | | |
|------|----------------|------|------------------|---------|----|-------|
| 工事名称 | 豊津小学校屋外トイレ新設工事 | 図面番号 | M / 01 | 意・構・電・設 | 日付 | |
| 図名 | 機械設備 特記仕様書 (1) | 版 次 | A1:N.S A3:N.S | | | No.16 |